

平成 21 年狛江市環境月間・狛江市下水道アンケート調査結果

狛江市下水道に関する市民の意向を把握するため、平成 21 年 6 月の環境月間イベントにおいて、イベント参加者を対象に、下水道アンケート調査を行った。

実施日時：平成 21 年 6 月 6 日（土）10：00～15：00

実施場所：市民ひろば・下水道出展ブース

アンケートは、選択式とし、選択肢以外に意向があれば、「その他」として自由記入してもらう様式とした。

その結果、36 名からアンケート回答を得た。その集計結果は、次のとおりである。

1. 回答者の傾向

- ① 性別内訳は、男性 9 名、女性 26 名（未記入 1 名）であり、女性が全体の約 75%を占めている。
- ② 年齢層では、70 歳代が最も多く 14 名（約 40%）であり、60 歳代以上の高齢者が全体の 70%以上を占めている。
- ③ 地区別では、和泉本町を中心に、市全域から、ほぼまんべんなく回答を得ている。

表－1 下水道アンケート回答者の男女別と年齢層の内訳

年齢層	男	女	計	
20歳代			0	
30歳代		6	6	17%
40歳代			0	
50歳代	2	2	4	11%
60歳代	2	8	10	29%
70歳代	5	9	14	40%
80歳代		1	1	3%
計	9 26%	26 74%	35	

※他に、年齢・性別の未記入1名あり

表－2 下水道アンケート回答者の地区別と年齢層の内訳

年齢層	居住地区											計		
	東野川	西野川	和泉本町	中和泉	元和泉	東和泉	西和泉	岩戸北	岩戸南	猪方	駒井町		狛江市外	
20歳代													0	
30歳代										1	1	2	2	6
40歳代														0
50歳代			1			1				1			1	4
60歳代				3	1		1		1	2		2		10
70歳代		2			8	1			1		1			14
80歳代											1			1
計	2		1	11	2	1	2	0	1	6	2	4	3	35

※他に、年齢・居住地区の未記入1名あり

2. アンケート回答集計結果

(1) 希望する下水道事業

今後希望する下水道事業については、「これからも安心して下水道を利用し続けるための事業（古い管きよの改築・更新等）」、「災害にもつよい下水道をめざした事業」「地下水の涵養や野川の親水性向上など、水環境をゆたかにするための事業」が多く、ほぼ同数の 20～22 名から回答があった。

このうち、「これからも安心して下水道を利用し続けるための事業」は、7 名が最重要（最も充実すべき）と回答しており、比較的優先希望が多い事業となっている。

表－3 「希望する下水道事業」回答集計結果

下水道の事業	回答数	うち最重要と回答
①これからも安心して下水道を利用し続けるための事業(古い管きよの改築・更新等)	22	7
②災害にもつよい下水道をめざした事業(地震対策)	21	3
③周辺環境に悪影響を与えないための事業(道路陥没対策等)	13	1
④地下水の涵養や野川の親水性向上など、水環境をゆたかにするための事業	20	1
⑤浸水被害をできるだけ防ぐための事業	9	
⑥その他	1	
計	86	12

※回答者36名、複数回答あり

※「その他」の回答は、「生態系をこわしてほしくない」との要望である。

(2) 下水道事業のあり方

今後の下水道事業のあり方については、「多少負担が増えても、今必要な事業は行うべき」が 27 名と最も多く、回答者全体（36 名）の 3/4 を占めている。

これをふまえると、今後、場合によっては、下水道使用料等を引き上げて事業を実施することも考えられる。

表－4 「下水道事業のあり方」回答集計結果

事業のあり方	回答数	備考
①多少負担が増えても、今必要な事業は行うべき	27	
②お金がかかるのであれば、必要な事業であっても先送りすべき	3	
③市民でもできることを行い、事業を減らすべき	10	
④その他	1	金はかからない
計	41	

※回答者36名、複数回答あり

(3) 下水道に対する要望

今後の下水道に対する要望については、「下水道事業に関する情報をもっと流してほしい」「市民でもできることを教えてほしい」が、それぞれ 22 名から回答があった。

この結果から、市民は、下水道について知らないことが多く、情報を求めている傾向がある。また、市民でも実施できることを周知すれば、官民協働で下水道事業を進めることも可能であると考えられる。

下水道に対する要望	回答数	備考
①下水道事業についてのイベント等を増やしてほしい	7	
②下水道事業に関する情報をもっと流してほしい	22	
③市民でもできることを教えてほしい	22	
④その他	2	条例改正・情報開示
計	53	

※回答者36名、複数回答あり

3. 総括

今回の下水道アンケート結果を総括すると、次のとおりである。

- ① 今回の回答者は、比較的高齢女性が多い。今後は、男性の他、20～40 歳代の年齢層の意向も把握しておくことが望ましい。
- ② 下水道事業に対しては、市民から今後一層の推進が期待されている傾向が強い。しかし、これまではPR不足のため、市民は情報を周知していない傾向にあり、今後は「狛江市下水道総合計画」の公表等、積極的な情報公開が求められる。
- ③ 下水道事業の必要性を市民に周知してもらうことで、市民の費用負担や官民協働をふまえた事業の推進も可能である。ただし、市民から了解を得るためには、今後の対策とその内容を明確に提示することが重要と考えられる。